

公共事業 再評価調書

平成23年9月1日作成

事業名	地方特定道路整備事業(地域密着型)	補助 <b>単独</b>	担当部課名	県土整備部道路建設課																																
路線名等	しゅようちほうどうはなまきおおまがりせん 主要地方道花巻大曲線	地区名	ささとうげ 笹峠	市町村 和賀郡西和賀町																																
[事業根拠法令等： 道路法第15条、第56条 ]																																				
事業概要	<p><b>(1) 事業目的</b></p> <p>○解決すべき課題 主要地方道花巻大曲線は、花巻市の国道4号を起点として、中山峠を越え西和賀町を經由し、秋田県大仙市に至る幹線道路である。本路線沿線の奥羽山系に位置する西和賀町、秋田県美郷町は、ともに過疎に悩んでいる山村地域であり過疎市町村に指定されている。そこで豊かな自然や歴史、観光資源を活用した地域間交流による総合的な地域活性化を図ってゆく必要がある。しかし、県境峠部は幅員1~3m程度の未舗装道路で車両通行不能区間となっており、現在では主要地方道盛岡横手線、一般国道107号などを大きく迂回しなければならず、秋田・岩手両県の交流・連携の支障となっている。</p> <p>○整備によって得られる効果 本事業により、車両通行不能区間の解消を図り、秋田・岩手の交流・連携を促進することにより、本地域の活性化に資する。</p>																																			
	<p><b>(2) 事業内容</b></p> <p>計画延長 L=800m 計画幅員 W=4.0(5.0)m 道路改築 L=800m</p>																																			
	<p><b>(3) 整備目標等</b></p> <p>県境峠部における車両通行不能区間の解消(L=800m)。</p>																																			
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:10%;">事業着手</td> <td style="width:15%;">H19年度</td> <td style="width:10%;">事業計画期間</td> <td style="width:10%;">H19 ~ H32 H27</td> <td style="width:15%;">再評価時全体計画期間 (当初全体計画期間)</td> <td style="width:10%;">用地着手</td> <td style="width:10%;">未着手</td> <td style="width:10%;">工事着手</td> <td style="width:10%;">未着手</td> </tr> </table>				事業着手	H19年度	事業計画期間	H19 ~ H32 H27	再評価時全体計画期間 (当初全体計画期間)	用地着手	未着手	工事着手	未着手																							
事業着手	H19年度	事業計画期間	H19 ~ H32 H27	再評価時全体計画期間 (当初全体計画期間)	用地着手	未着手	工事着手	未着手																												
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="width:10%;">事業費</td> <td style="width:15%;">当初計画 総事業費 (H19年) (うち用地費)</td> <td style="width:10%;">前回 再評価時 総事業費 (無し) (うち用地費)</td> <td style="width:10%;">今回 再評価時 総事業費 (H23年)A (うち用地費)</td> <td colspan="5" style="text-align: center;">事業費の状況 [百万円]</td> <td rowspan="3" style="width:10%;">進捗率 F=E/A</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="width:10%;">H19年~ B H21年</td> <td style="width:10%;">C H22年</td> <td style="width:10%;">D H23年</td> <td style="width:10%;">投資事業費 E=B+C+D</td> <td style="width:10%;">財源</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">700.0 (10.0)</td> <td style="text-align: center;">700.0 (10.0)</td> <td style="text-align: center;">700.0 (10.0)</td> <td style="text-align: center;">6.8 (0.0)</td> <td style="text-align: center;">0.0 (0.0)</td> <td style="text-align: center;">0.0 (0.0)</td> <td style="text-align: center;">6.8 (0.0)</td> <td> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%;">国庫</td> <td style="width:50%;">0.0</td> </tr> <tr> <td>県</td> <td>6.8</td> </tr> <tr> <td>他</td> <td>0.0</td> </tr> </table> </td> <td style="text-align: center;">1.0%</td> </tr> </table>				事業費	当初計画 総事業費 (H19年) (うち用地費)	前回 再評価時 総事業費 (無し) (うち用地費)	今回 再評価時 総事業費 (H23年)A (うち用地費)	事業費の状況 [百万円]					進捗率 F=E/A				H19年~ B H21年	C H22年	D H23年	投資事業費 E=B+C+D	財源	700.0 (10.0)	700.0 (10.0)	700.0 (10.0)	6.8 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	6.8 (0.0)	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%;">国庫</td> <td style="width:50%;">0.0</td> </tr> <tr> <td>県</td> <td>6.8</td> </tr> <tr> <td>他</td> <td>0.0</td> </tr> </table>	国庫	0.0	県	6.8	他	0.0	1.0%
事業費	当初計画 総事業費 (H19年) (うち用地費)	前回 再評価時 総事業費 (無し) (うち用地費)	今回 再評価時 総事業費 (H23年)A (うち用地費)		事業費の状況 [百万円]					進捗率 F=E/A																										
					H19年~ B H21年	C H22年	D H23年	投資事業費 E=B+C+D	財源																											
	700.0 (10.0)	700.0 (10.0)	700.0 (10.0)	6.8 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	6.8 (0.0)	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%;">国庫</td> <td style="width:50%;">0.0</td> </tr> <tr> <td>県</td> <td>6.8</td> </tr> <tr> <td>他</td> <td>0.0</td> </tr> </table>	国庫		0.0	県	6.8	他	0.0	1.0%																				
国庫	0.0																																			
県	6.8																																			
他	0.0																																			
事業の進捗状況等	<p><b>(1) 事業の進捗状況</b></p> <p><b>ア 整備効果の発現状況</b> 未供用であるため、整備効果の発現はない。</p> <p><b>イ 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し</b></p> <p>①理由(阻害要因) 岩手・秋田両県で調整しながら同時期の開通を目指し事業を進めてきたが、秋田県において財政的理由により平成20年度からゼロ予算としており、岩手県ではそれを受けて平成20年度よりゼロ予算としている。</p> <p>②解決の見通し(難易度) 秋田県で財政的理由により事業再開の目途が立っていない状況。</p> <p>③解決までの対応及び期間 秋田県での再開の目途が立っておらず、中止・再開の判断までにある程度の期間が必要であり、最終的な判断時期は今後両県で調整を図る。</p> <p>○中項目評価は、事業を阻害する要因の難易度が高く、現時点では事業進捗の見通しが立たないことから「c」とした。</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">             中項目評価    a    .    b    .    <b>c</b> </div>																																			
	<p><b>(2) 事業計画の変更の有無及び内容</b> 変更無し</p> <p>○中項目評価は、変更無いため「a」とした。</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">             中項目評価    <b>a</b>    .    b    .    c         </div> <p>○中項目評価が、「c」、「a」であることから、大項目評価は「C」とした。</p>																																			
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:10%;">評価</td> <td style="width:15%;">AA</td> <td style="width:10%;">A</td> <td style="width:10%;">BB</td> <td style="width:10%;">B</td> <td style="width:10%;">C</td> </tr> </table>				評価	AA	A	BB	B	C																										
	評価	AA	A	BB	B	C																														
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:10%;">評価</td> <td style="width:15%;">AA</td> <td style="width:10%;">A</td> <td style="width:10%;">BB</td> <td style="width:10%;">B</td> <td style="width:10%;">C</td> </tr> </table>				評価	AA	A	BB	B	C																											
評価	AA	A	BB	B	C																															

(1) 事業に関する社会経済情勢

ア 全国の状況

競争力、成長力の確保や地域の活性化のための道路整備が求められており、「国際競争力の確保」「地域の自立と活力の強化」「安全・安心の確保」「環境の保全と豊かな生活環境の創造」「既存高速道路の有効活用」の政策課題について、重点的・効率的に事業を推進することとしている。

イ 本県内の状況

「いわて県民計画」では、産業を支える社会資本の整備や安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備を主要政策項目に掲げている。その中で、道路整備としては工業製品や農林水産物などの物流の円滑化を図る幹線ネットワークを構築することや、広域的な観光や圏域を超えた交流を促進するための道路整備を推進することとしている。

ウ 施工地域における状況

西和賀町、横手市、美郷町の3市町よりなる整備促進期成同盟会より早期開通の要望が出されている。

○中項目評価は、全国又は本県において政策や事業のあり方についての議論や見直しの検討が無いことから「a」とした。

中項目評価	a	b	c
-------	---	---	---

(2) 事業に関する評価指標の推移

評価指標	配点	事業着手時 評点(A)	前回再評価時 評点(B)	今回再評価時 評点(B)	増減(B)- (A)	備考
必要性	車道等幅員	5	5 (現況1m)	5 (現況1m)	0	
	曲線半径	5	5 (現況10m)	5 (現況10m)	0	
	縦断勾配	5	5 (現況20%)	5 (現況20%)	0	
	歩道設置の必要性	3	0 (不要)	0 (不要)	0	
	混雑度	2	0 (0.08)	0 (0.06)	0	
	定時性	2	0 (0.0km/h)	0 (0.0km/h)	0	
	事故率	3	0 (なし)	0 (なし)	0	
	過疎地域等の振興	5	5 (過疎・山振)	5 (過疎・山振)	0	
重要性	ネットワークの位置付け	5	4 (あり)	4 (あり)	0	あり 地域形成型広域道路
	産業振興・生活支援	15	9 (2項目)	9 (2項目)	0	※1
緊急性	関連事業の有無	5	5 (あり)	5 (あり)	0	あり 秋田県地方特定道路整備事業
	冠水、主要渋滞P、老朽橋、通行危険箇所等	5	5 (あり)	5 (あり)	0	あり 通行不能区間
	部分供用の有無	2	0 (なし)	0 (なし)	0	
	10km以内に迂回道路	3	3 (なし)	3 (なし)	0	なし
効率性	費用便益比(B/C)	20	15 (1.6)	15 (1.3)	0	※2
熟度	用地取得の進捗状況 (着手時は地元協力)	3	3 (60%以上)	0 (0%)	-3	※3
	地元要望	12	12 (あり)	12 (あり)	0	
計		100	76	73	-3	(再評価時/採択時) 96%

社会  
経済  
情勢  
等  
の  
変  
化

※1：地域の合意に基づくローカルスタンダード整備、県際道路  
 ※2：B/Cの減は交通量推計による将来交通量が減ったことによる  
 ※3：当該事業での用地未着手

○ 費用便益分析 (案)

費用便益分析手法:費用便益分析マニュアル(平成20年11月)、道路投資の評価に関する指針(案) (単位:百万円)  
第1編(平成10年6月)、第2編(平成11年11月)

区 分		事業着手時 (基準年:平成18年)	再評価時 (基準年:平成23年)
費用項目	改築費	558.5	498.1
	維持費	44.1	23.0
	総費用(C)	602.6	521.1
便益項目	時間短縮便益	517.3	324.4
	走行経費減少便益	98.9	105.7
	事故減少便益	27.7	27.5
	3 便益 ①	643.9	457.6
	環境改善便益	0.0	0.0
	拡張便益	0.0	0.0
	その他便益 ②	0.0	0.0
小計(①+②)		643.9	457.6
修正便益 ③		291.7	227.9
総便益(B) ①+②+③		935.6	685.5
費用便益比(B/C)		1.6	1.3

参考 将来交通量

109台/日(H32)

91台/日(H42)

※費用便益分析において地域特性等考慮すべき特記事項

・当該道路については地域修正係数による修正費用便益を考慮している。また、冬期通行止めの日数150日を便益から控除しており、維持管理費の内、雪寒費を控除している。

○ 関連する開発プロジェクト等の状況

・秋田県地方特定道路整備事業(平成5年度～)

○中項目評価は、各評価指標の評点の合計が事業着手時の90%以上であることから「a」とした。

中項目評価 a . b . c

(3) 自然環境等の状況及び環境配慮事項

ア 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分

- ・岩手県自然環境保全指針による保全区分
- ・希少野生動植物生息の有無
- ・埋蔵文化財包蔵地の有無
- ・その他特記事項

あり  
なし

B

イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費

- ・振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会への付議状況

付議している

①主な助言内容

- ・緑の回廊の機能(森林の連続性を確保することによる野生生物の生息環境保全)が失われないようにすること。

②対応状況

野生生物の生息環境保全のため以下の対策を検討中。

- ・特異な微地形等を保全するため、それらを避けたルートを選定。
- ・希少植物の域外への移植、及び切土法面等における在来植生復元工法の採用。
- ・管渠による動物移動路の確保及び小動物にやさしい側溝の採用。
- ・H19年に計画路線外にて猛禽類の営巣が発見され、モニタリングを実施。

《環境等への配慮に要する経費》

- ・動物の移動経路確保(10,000千円)
- ・切土・盛土については植生緑化(56,000千円)

○中項目評価は、自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分の保全方向に沿って積極的な対応を検討していることから「a」とした。

中項目評価 a . b . c

○中項目評価が「a」「a」「a」であることから、大項目評価は「AA」とした。

評 価 AA . A . B . C

(1) コスト削減対策の実施状況及び今後の可能性

- ・将来2車線化計画を無くすことによる補強土壁工の削減 約50,000千円

合計 約50,000千円

(2) 代替案立案の可能性

①代替案として考えられる他の事業手法・工法の比較検討結果

ルートについては以下の点を考慮し本計画案を最適案として選定している。

- ・特異な微地形等を避けるルートとする。
- ・切土、盛土による土地改変面積を小さくし、峠部の景観及び環境への影響に配慮する。
- ・補強土壁等の構造物延長を極力短くしコスト削減に努める。

②今後における代替案立案の可能性

現時点では予想される社会経済情勢、自然環境等の大きな変化は無いため、代替案立案の可能性はない。

(1) 総合評価

総合評価 (対応方針案)	事業継続	要検討	中止
	(事業継続、見直し継続、休止、中止)		

(事業名) 地方特定道路整備事業(地域密着型)

着手年度	完了予定年度	事業費 (百万円)	投資 事業費 (百万円)	進捗率 (%)		(1) 事業進捗状況			(2) 社会経済情勢			参考	
						進捗状況	計画変更		社会経済	評価指標	自然環境	評点	B/C
19	32	700	6.8	1.0%	C	c	a	AA	a	a	a	73	1.3

○総合評価に係るコメント

①再評価の総括

社会経済情勢等の変化については、「事業に関する社会経済情勢」、「評価指標の推移」、「自然環境等の状況」に関して大きな変化が見られない。しかし、「事業進捗状況等」については、秋田県側で財政的理由により平成20年度からゼロ予算となっており、事業再開の目途が立っておらず、秋田県との事業進捗を合わせ供用開始する必要があることから「要検討(休止)」と判断したものである。

(2) 要検討、中止の場合の対応

秋田県での再開の目途が立っておらず、中止・再開の判断までにある程度の期間が必要であるため、最終的な判断は今後秋田県と連絡調整を図ることとする。

※評価対象事業の位置図、計画平面図、標準横断面等を添付のこと。

# 地方特定道路整備事業 笹峠工区 実施状況図

